

## 第5章 「ささえる」生活基盤



大溝城跡の石垣



## ささえる 生活基盤

都市機能を維持し生活基盤を「ささえる」まちづくり

普段何気なく利用しているもの。気に留めないけど確かにそこにあるもの。縁の下で建物を支える礎石のように、目立たないけれどそこにあるからこそ大切なものがあります。

生活基盤の分野においてはこの礎石のように、しっかりと都市の機能を維持し生活を支えるまちづくりに取り組みます。

# [施策体系]

## 施策項目 1 安心して快適な暮らしの基盤を守ります

P.5-4

### 方針 1 高島の魅力が活かせる土地利用を推進します

P.5-6

- 施策① 土地利用のあり方検討による魅力の維持
- 施策② 都市計画マスタープランの推進
- 施策③ 都市機能の誘導による利便性の向上

### 方針 2 誰もが快適に暮らせる機能整備を推進します

P.5-8

- 施策① 都市公園の整備による住環境の向上
- 施策② 市営住宅の規模の見直しと長寿命化

### 方針 3 地域の状況に応じた上下水道施設を整備します

P.5-10

- 施策① 適正な施設規模による水の安定供給
- 施策② きれいな水環境を守る下水道事業の運営

## 施策項目 2 安全で便利な公共交通・道路網を構築します

P.5-12

### 方針 1 公共交通網の利便性向上を図ります

P.5-14

- 施策① 鉄道の利便性向上と利用促進
- 施策② 利便性向上による安定的な公共交通の運行

### 方針 2 基幹道路や生活主要道路を整備・維持します

P.5-16

- 施策① 国道・県道の整備による利便性の向上
- 施策② 生活主要道路の整備による道路網の確保
- 施策③ 橋りょうの維持補修による安全性の向上

基本構想

産業・経済

子育て・教育

健康・福祉

暮らし・文化

生活基盤

行政経営

施策項目

1

# 安いで快適な暮らしの基盤を守ります

## ◆ 基本的な考え方

第1次高島市総合計画では、自然と調和し地域特性に応じた土地利用の推進を掲げ、土地利用の誘導に努めてきました。

今後の土地利用に関しては、人口減少にともなう地域の空洞化への対応や、高齢世帯の生活利便性への対応、定住や移住を促進するための望ましい市街地形成のあり方など、検討すべき課題があります。

高島らしい自然環境や住環境を維持しながら、必要な基盤整備を進めるために、土地利用のあり方について市民が一体となった検討を進める必要があります。



上空から高島市を望む

## ◆ 政策間連携の視点

土地利用については市民生活に密接に関係することから、土地利用を計画する段階では行政と市民が一体となった協議体制を構築する必要があります。また、高島らしさを維持するため、無秩序な開発を抑止することはもちろん、高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすさが実感できる土地利用のあり方を検討し、生活基盤整備および生活支援サービスなどを重点化して、高島市の発展と持続を可能にする政策を進める必要があります。

第1章  
「かもす」産業・経済

✓ 高島らしい景観を守り、魅力を活かせる企業の誘致

第2章  
「あゆむ」子育て・教育

✓ 遊びや憩いの場所の確保

第3章  
「つむぐ」健康・福祉

✓ バリアフリーやユニバーサルデザインの推進

第4章  
「せせらく」暮らし・文化

✓ 移住や転居に対する市街地域への誘導

第6章  
「こころざす」行政経営

✓ 行財政改革の推進



## ◆ 市民協働の視点

第2次高島市総合計画の策定にあたり実施した、市民ワークショップや市民アンケート調査、団体ヒアリングなどの意見を、施策の推進にあたっての「市民協働の視点」としてまとめました。

### 個人でできること

- ◆ 治水作業、草刈等へ参加する
- ◆ きれいな水を知り、環境を大切にする
- ◆ かばたに代表されるような、水を大切にする地域性を継承する

### 地域でできること

- ◆ 電車やバスを活用した観光コースを考える



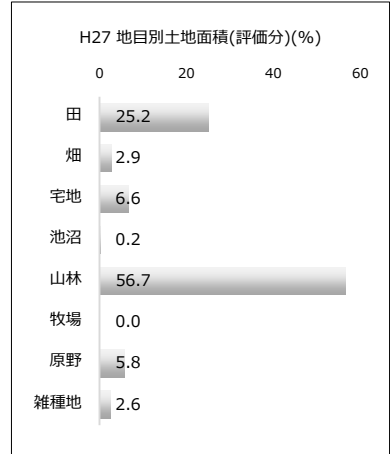
高島市の風景

施策項目  
1

方針 1 高島の魅力が活かせる土地利用を推進します

現状

- 現在の土地利用調整計画は、合併時に策定したものをそのまま利用しています。
- 高島市の可住地面積は、全面積の23.1%となっており、県内市部では最も低い割合となっています。  
\*出典：都市計画マスタープラン
- 都市計画マスタープラン\*において、用途地域を設定し人口の誘導を図っていますが、総人口に占める用途地域内の人口割合は約3割程度であり、人口移動は進んでいない状況にあります。  
\*都市計画マスタープラン……地域における都市づくりの課題とこれに対応した整備等の方針を明らかにする基本計画



課題

- 高島市の魅力である自然環境を保全しながら企業誘致や宅地造成を進めるため、土地利用のあり方を検討する必要があります。
- 移住する方や新しく住宅を建てる方に対し、すでにインフラが整っている地域への誘導を行う必要があります。

1 土地利用のあり方検討による魅力の維持

これからの高島市における土地利用のあり方を検討し、時代にあわせた都市機能の適正化と高島らしい自然景観・生活環境を守ります。

主な取り組み内容

- ・ 土地利用のあり方検討
- ◆ 公共施設の再編と地域拠点づくり事業

めざす姿 土地利用調整基本計画の改訂

現状(なし)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
					改訂					

関連個別計画 ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、土地利用調整基本計画、都市計画マスタープラン

実行部門 政策部

## 2 都市計画マスタープランの推進

地域特性を最大限に活かした、メリハリのある土地利用を進めるとともに交通基盤の充実を図り、恵まれた自然や地域文化を活かした都市づくりを推進します。

### 主な取り組み内容

- 都市施設整備方針に基づく都市基盤の整備
- 近隣自治体等との連携による広域的な事業の展開

### めざす姿

都市計画マスタープランの改訂

現状 (H24)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
策定					改訂					

### 関連個別計画

土地利用調整基本計画、都市計画マスタープラン

### 実行部門

土木上下水道部

連携施策

P.4-18,19 住環境

P.6-12,13 行財政改革

## 3 都市機能の誘導による利便性の向上

生活関連サービスの集積区域への住居・店舗などの立地誘導を進めるとともに、駅を中心とした交通関連施設の規模の見直しにより、生活利便性の向上を図ります。

### 主な取り組み内容

- 駅前広場等の再整備
- 交通バリアフリーの推進

### めざす姿

都市計画区域内の人口に占める用途地域内の人口割合(年度実績)

現状 (H22)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
35%					↑					↑

### 関連個別計画

駅前広場再整備計画、交通バリアフリー基本構想

### 実行部門

土木上下水道部

連携施策

P.3-18,19 生活利便性

P.4-18,19 住環境

P.6-12,13 行財政改革



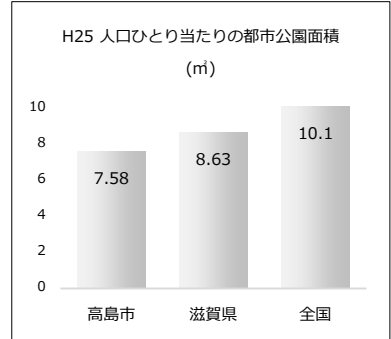
対岸から昇る朝日

施策項目  
1

方針 2 誰もが快適に暮らせる機能整備を推進します

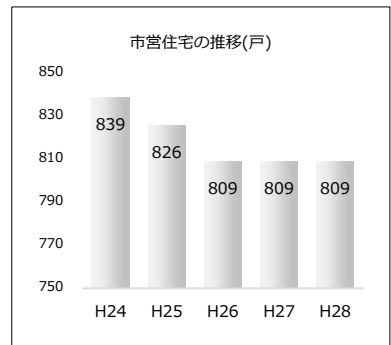
現状

- 高島市内の都市公園\*の数は17か所、面積は390,000㎡で、人口ひとり当たりの面積は7.58㎡となっています。  
\*出典：都市公園等整備現況調査から市作成
- 市営住宅の数は、平成24年は839戸でしたが、平成26年から809戸となっており減少傾向にあります \*出典：高島市統計書
- 持ち家数は、平成20年は14,040住宅、平成25年は14,930住宅となっています。 \*出典：住宅・土地統計調査
- 民間の借家数は、平成20年は1,590住宅、平成25年は1,870住宅となっています。 \*出典：住宅・土地統計調査



課題

- 子どもから高齢者までが、地域の憩いの場所として活用できる都市公園の維持管理や安全管理を行う必要があります。
- 行財政改革とあわせて公営住宅戸数の規模を見直す必要があります。
- 鉄道駅周辺施設の老朽化に対し、安全性を確保する必要があります。



1 都市公園の整備による住環境の向上

子どもから高齢者までが身近で安全に利用できる都市施設の再編や再整備を行い、子どもの遊び場や地域の憩いの場所を整備します。

主な取り組み内容

- ・ 都市公園施設の再整備
- ・ 都市公園遊具の補修・更新

めざす姿 都市公園施設の健全化(判定の見直し)

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
策定			見直し				見直し			見直し

関連個別計画 公園施設長寿命化計画、公共施設総合管理計画

実行部門 土木上下水道部



## 2 市営住宅の規模の見直しと長寿命化

市営住宅管理戸数の規模の見直しや長寿命化を図るとともに、住宅困窮者に対し低家賃で住みやすい市営住宅の供給や管理を行います。

### 主な取り組み内容

- ・ 市営住宅の管理
- ・ 市営住宅の長寿命化

### めざす姿

市営住宅の管理戸数(政策空き家を除く)(年度実績)

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
557 戸					557 戸					428 戸

### 関連個別計画

公共施設総合管理計画、公営住宅等長寿命化計画

### 実行部門

土木上下水道部

連携施策 P.3-16,17 生活困窮者支援 P.6-12,13 行財政改革



都市公園

施策項目  
1

方針3 地域の状況に応じた上下水道施設を整備します

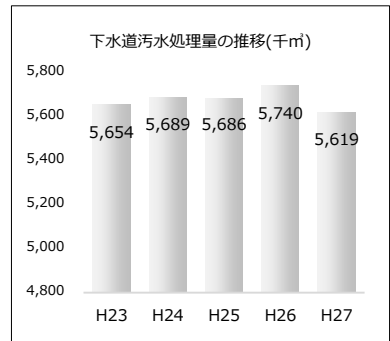
現状

- 水道の給水量は、平成23年度は7,136,013㎥でしたが、平成27年度は6,952,785㎥と減少傾向にあります。
- 水道管路延長は、平成27年度時点で631.66kmですが、このうち163.14km、約25.8%が耐用年数である40年を超過しています。
- 下水道汚水処理量は、平成23年度は5,654,720㎥でしたが、平成27年度は5,619,982㎥となっています。
- 農林業集落排水の公共下水道への接続を進めています。



課題

- 生活に欠かせない水を安定供給するため、老朽化した水道管路や水道設備の更新、長期的視点に立った施設規模の適正化が必要です。
- 下水道の整備はほぼ終わっており、水洗化率を高めるとともに、農林業集落排水の公共下水道への接続などを進めて水を浄化し、地域の衛生環境を守る必要があります。



1 適正な施設規模による水の安定供給

老朽化した水道管路や水道設備の更新を行うとともに、人口減少にともなう水需要の減少に備えた施設規模の見直しを行い、安全・安心で安定した水の供給を行います。

めざす姿 水道事業基本計画の見直し

現状(H25)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
策定(見直し)		改訂					見直し			

関連個別計画 水道事業基本計画

実行部門 土木上下水道部

主な取り組み内容

- ・ 水道管路の更新
- ・ 水道設備の更新
- ・ 水需要予測に基づく施設規模の見直し

## 2 きれいな水環境を守る下水道事業の運営

老朽化した施設や設備の改修・耐震化を行うとともに農林業集落排水の公共下水道への接続を推進し、水を浄化して清潔な生活環境を構築します。

### 主な取り組み内容

- 下水道施設の更新、耐震化
- 下水道設備の改修
- 農林業集落排水の公共下水道への接続
- 県汚水処理施設の共同利用
- 合併浄化槽の普及

### めざす姿

下水道の水洗化率（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
90.5 %					↑					↑

### 関連個別計画

汚水処理施設統廃合計画、行財政改革計画

### 実行部門

土木上下水道部

連携施策

P.4-12,13 水環境

P.6-12,13 行財政改革



水道施設

施策項目

2

安全で便利な公共交通・道路網を構築します

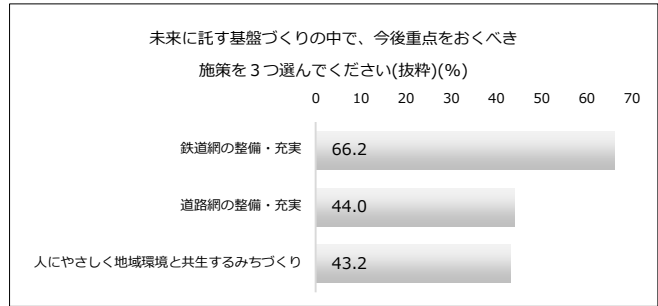
◆ 基本的な考え方

第1次高島市総合計画においても、国道・県道の整備要望や地域内道路網の整備、鉄道とバスの運行調整等を推進してきました。

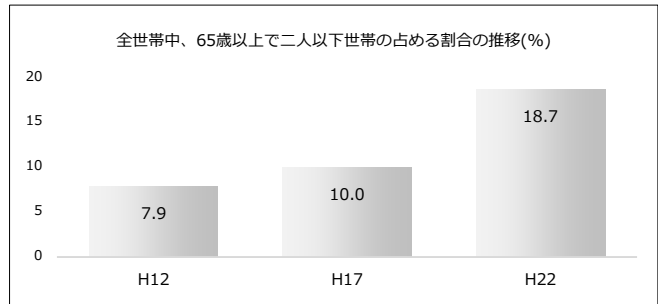
しかしながら、第2次総合計画策定のための市民アンケート調査では、鉄道の利便性向上や道路の整備に対する満足度が低く、また今後重点として取り組むべき施策としての重要度が高くなっています。

このことから、引き続き鉄道の利便性向上を強く働きかけるとともに、通学や通勤などの利用促進を図り、同時にバリアフリーを進める必要があります。

また、高齢世帯が増加すると見込まれる中で、病院や買い物といった生活圏内での移動手段を確保するとともに、観光の2次アクセスとしても有効な多面的側面を考慮した公共交通のあり方を検討していく必要があります。



出典：H27.10 市民アンケート調査(n=924)



出典：国勢調査から市作成

◆ 政策間連携の視点

公共交通・道路網の充実は、経済面では物流や観光アクセスの利便性向上、福祉面では子どもや高齢者、障がいのある方の利便性向上など、多面的な好影響が期待できます。このことから、自治体としての持続性を考慮しながら、最も投資効果のある方法によって、安全で便利な公共交通網・道路網を構築することが必要です。

第1章

「かもす」産業・経済

- ✓ 通勤や物流など市外との交通アクセスの向上
- ✓ 市外からの観光客のアクセスの向上や市内2次アクセスの向上

第2章

「あゆむ」子育て・教育

- ✓ 市内、市外への通学の安全性と利便性の確保

第3章

「つむぐ」健康・福祉

- ✓ 自家用車以外での生活圏内での移動手段の確保

第4章

「せせらく」暮らし・文化

- ✓ 市外との交通アクセスの利便性向上による移住・定住の推進

第6章

「こころぎす」行政経営

- ✓ 行財政改革の推進



## ◆ 市民協働の視点

第2次高島市総合計画の策定にあたり実施した、市民ワークショップや市民アンケート調査、団体ヒアリングなどの意見を、施策の推進にあたっての「市民協働の視点」としてまとめました。

### 個人でできること

- ◆ 公共交通を利用する

### 地域でできること

- ◆ 大津市、長浜市、敦賀市との連携を強化し、将来にわたってJRや国へ湖西線の維持を訴え続ける



湖西線40周年記念事業の様子

施策項目  
**2**

方針 **1** 公共交通網の利便性向上を図ります

現状

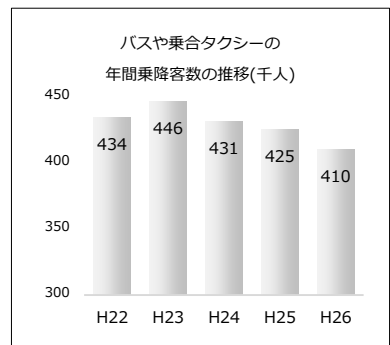
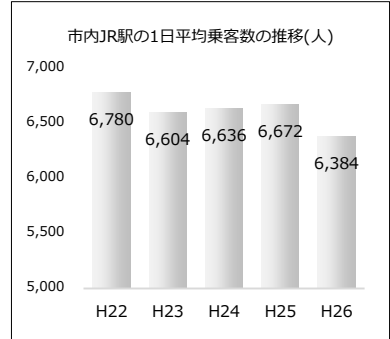
- 市内のJR駅の1日の平均乗客数は、平成22年は6,780人ですが、平成26年は6,384人となっています。

\*出典：高島市統計書

- バスや乗合タクシーの年間乗降客数は、平成22年は434,970人ですが、平成26年は410,062人となっています。 \*出典：高島市統計書

課題

- 地域内交通としての重要性を確保しつつ、京阪神や北陸など都市圏とつながる、通勤・通学などの日常生活面や福祉面、観光面などを含めた総合的な施策を展開する必要があります。
- JR湖西線は市民生活における重要な交通インフラであり、さらなる増便による輸送力の強化や安定運行に向けて取り組む必要があります。
- バスや乗合タクシーは、自家用車等による移動手段がない方にとって欠くことのできない交通手段であり、高齢者の増加が見込まれる中、利便性の高いバスや乗合タクシーの運行を図る必要があります。



**1** 鉄道の利便性向上と利用促進

関係機関に対し要望を行うとともに通勤・通学や観光利用などの利用促進や周辺施設の適正な管理を行い、湖西線の利便性の向上と利用客の維持を図ります。

主な取り組み内容

- ・ 利便性向上に向けた要望活動
- ・ 観光なども含めた利用促進事業
- ・ 駐車場や駐輪場など周辺施設の管理
- ・ バリアフリー化の推進

めざす姿

人口に対する市内JR駅の1日平均利用率(市内JR駅の1日平均乗客数/人口)

現状(H26)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
12.3%					12.3%					12.3%

関連個別計画

実行部門

土木上下水道部

## 2 利便性向上による安定的な公共交通の運行

鉄道や福祉面、観光面を意識した運行体系の見直しや、子どもや高齢者が利用しやすい環境の整備などを行い、公共交通としての利便性向上と継続性を高めます。

### 主な取り組み内容

- ・ バス、乗合タクシーの運行体系の調整
- ・ バス、乗合タクシーの利用促進

### めざす姿

人口に対するバスや乗合タクシーの1日平均利用率(バスや乗合タクシーの1日平均乗降客数/人口)

現状 (H26)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
2.2 %					2.2 %					2.2 %

### 関連個別計画

### 実行部門

土木上下水道部

連携施策

P.1-22,23 観光振興

P.3-18,19 生活利便性



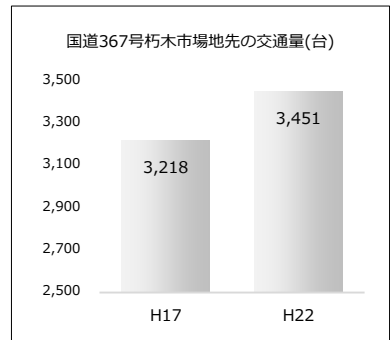
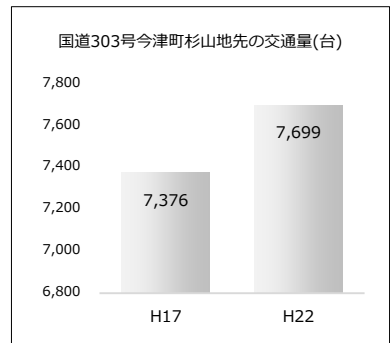
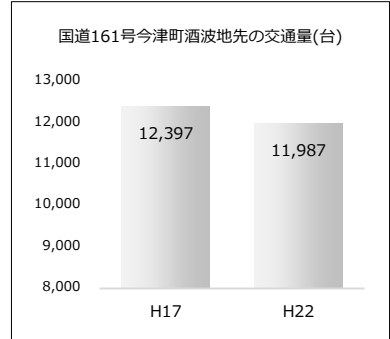
コミュニティバス

施策項目  
**2**

方針 **2** 基幹道路や生活主要道路を整備・維持します

現状

- 市内の一般国道の道路延長は、平成25年で70.1km、一般県道は、平成25年で203.4kmとなっています。  
\*出展：道路施設現況調査
- 市道の道路延長は、平成27年で759.7kmとなっています。  
\*出展：道路台帳
- 市内国道の交通量は、全体的に増加傾向にあり、特に国道161号線については、休日の夕方を中心に慢性的に渋滞が発生しています。 \*出展：滋賀県道路交通情勢調査
- 市内には670の橋梁がありますが、これらの点検を行い結果によって必要な補修を行うことが法改正により義務付けられました。



課題

- 流通や通勤、観光などを多面的に支える基幹道路について整備する必要があります。
- 生活に欠かせない主要道路について、利用率を考慮した維持管理を行い、子どもや高齢者などの交通安全に配慮した計画的な改修を行う必要があります。
- 橋りょうの点検と補修については、将来負担を考慮し、代替性や迂回路などを検討・調整した上で、必要性を考慮しながら計画的に補修を行う必要があります。

**1** 国道・県道の整備による利便性の向上

国や県などの関係機関へ強く働きかけ、国道・県道の整備を促進し、生活利便性の確保や災害時における避難道路、緊急輸送道路を確保します。

主な取り組み内容

- ・ 国や県への整備要望

めざす姿 国道・県道の計画的な整備要望

現状(H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
要望活動					→					→

関連個別計画

実行部門 土木上下水道部



## 2 生活主要道路の整備による道路網の確保

必要に応じた生活主要道路の整備や維持管理および雪寒対策などを行い、生活に密着した道路網の確保と円滑な交通流動を図ります。

### 主な取り組み内容

- 道路の改良
- 道路の維持管理
- 雪寒対策の推進
- 消雪設備の整備

### めざす姿 道路管理延長（総計）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
760 km					→					→

### 関連個別計画 道路整備プログラム

### 実行部門 土木上下水道部

連携施策 P.4-20,23 交通事故防止 P.6-12,13 行財政改革

## 3 橋りょうの維持補修による安全性の向上

老朽化した橋りょうについて代替性や必要性を検討した上で計画的かつ予防的な維持補修を行い、安全性を高めるとともに安全な道路ネットワークを維持します。

### 主な取り組み内容

- 橋りょうの維持補修

### めざす姿 橋りょう点検数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
123 橋	168 橋	222 橋	134 橋		→					→

### 関連個別計画 橋梁長寿命化計画

### 実行部門 土木上下水道部

連携施策 P.4-20,23 交通事故防止 P.6-12,13 行財政改革



国道161号線安曇川交差点付近

第8回たかしま子ども美術展「みらいのたかしま～わたしがおとなになったとき」市長賞受賞作品



「花いっぱいの高島」本庄小学校4年／秋永聖さん